

2023

秋

# NEWSLETTER

宮崎市国際交流協会



■ 編集・発行 宮崎市国際交流協会

〒880-8505  
宮崎市橘通西1丁目1番1号

TEL 0985-21-1719

FAX 0985-21-1733

HP <https://www.miyazaki-mcia.jp/>



友だち  
募集中

LINE @612xlyhx

宮崎市国際交流協会





## まつりえれこっちやみやざきに 参加しました～！



4年ぶりに開催された市民総踊りに、当協会も「世界の仲間たち」踊り隊として参加しました！

当日は、宮崎県日本・ベトナム友好協会の協力を得て、宮崎市に住む外国人と日本人合わせて約40名が集まりました。ほぼ全員初めての顔合わせでしたが、総踊り前のランチ交流会を通して打ち解け、仕事や学校の話で盛り上がりました。その後の総踊りは、気温の熱い中でしたが、全員でがんばって最後まで踊りきりました。当協会では、次年度も、ランチ交流会を開催し、市民総踊りに参加する予定です。宮崎市民の外国人の方や会員の皆様は奮ってご参加ください。

**韓国**  
**報恩郡**  
**中学生**

Online  
交流事業

우리나라 음식 소개  
韓国料理を紹介します

능과 세조  
公と世祖

宮崎市の姉妹都市報恩郡の中学生との交流事業は、コロナ禍でオンライン交流会に切り替わって、あっという間に今年で3回目となりました。今年度は、宮崎市立本郷中学校の生徒5名と報恩郡の中学生6名、合わせて計11名で2日間のオンライン交流会を行いました。交流会では、お互いの住んでいる町、通っている学校、そして趣味・特技について紹介しましたが、その後の質疑応答では、K-PopやJ-Pop、そしてゲームの話題など国は違っても同じグローバル時代を生きる中学生同士で話が尽きませんでした。交流後も連絡先を交換するなど友情が深まったようです。





## こそだてCafé 「お弁当づくり体験」

9月のこそだてCaféは、日本のお弁当づくり体験でした。以前から子育て中の保護者の方から「日本のお弁当の作り方を教えてほしい。」との要望の声があり、今回の講座となりました。日本で子育てをする中で、子供にもたせるお弁当も、外国出身の親御さんの悩みの種になることがあります。

当日は、フライパン一つで手軽にできることをテーマに講師の栄養士さんから簡単な巻き寿司、卵焼き、かぼちゃサラダと焼肉の作り方を教えていただきました。野菜の切り方や、小物の使い方なども教えていただき、参加者の方は「早速子供の保育園のお弁当作りに活かします!」「これで私もお弁当が作れます。」と、嬉しそうでした。



## 「世界の友達の輪をつくる体験活動」バスツアー

(公財)中島記念国際交流財団の日本学生支援機構留学生地域交流事業より助成金を受け、外国人留学生及び在住外国人と日本人大学生及び地域住民を対象に、体験活動交流を通してお互いを理解し合い、友情を深めることを目的とした「世界の友達の輪をつくる体験活動」バスツアーを実施しました。

まずは、活動開始前に、事務局長より本事業は「国籍や人種を超えた交流を通して、同世代の友達の輪を広げていくことが目的である」と説明がありました。その後グループ編成をし、フィールドアスレチックに挑戦しました。声を掛け励まし合いながらアスレチックを乗り越えていく中で、徐々に参加者同士が仲良くなっていくのが分かりました。野外炊飯活動では、ハラールミート(ムスリムの教えに従って処理したお肉)のテーブルを別途用意し、日本人大学生参加者にとっては異文化を学ぶ良い機会になったと思います。参加者同士すっかり打ち解けた後の青島では、日本人大学生に青島の歴史や自然を「やさしい日本語」で解説するようお願いして留学生と散策してもらいました。事業後感想には「I could make a lot of friends all over the world!(世界中にたくさんの友達ができました!)」とあり、この活動をきっかけに参加者同士の交流がこれからも続いていくことを心から願います。



## 今後のお知らせ

※予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

### 韓国報恩郡から

#### 訪問団 来宮

11月15日から宮崎市の姉妹都市である韓国報恩郡より、姉妹都市30周年を記念する訪問団が来日します。報恩郡の郡守(日本の市長にあたる方)にとっては、今年就任後の初の宮崎となります。協会スタッフ一同、心を尽くして歓迎する予定です。

### 国際理解講演会

#### 海外での医療支援活動について

12月23日に、現在海外在住で宮崎市出身の看護師の方の講演会を開催します。

昨年、ロシアのウクライナ侵攻後、隣国のモルドバに避難してきたウクライナ避難民や、トルコ大地震の際に被災地での医療活動に看護師として携わった貴重なお話しをしていただきます。

## Instagramはじめました！

以前からアカウントは取得していたものの、なかなか定期的に更新をすることができませんでした。今回学生ボランティアさんの力を借りて運用することとなりました。協会の活動の様子をアップしていきたいと思っておりますので、フォローをよろしくお願いします。



日程	講座名・会場	備考
①毎週金曜日 18:30～ ②毎週土曜日 10:00～ ③第2・第4日曜日 9:30～	①みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ②みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ③佐土原みんなで日本語会 佐土原総合文化センター	参加者・ボランティア 随時募集中
11月11日(土) 13:00～	(公財)宮崎県国際交流協会主催 みやざき国際フェスタ カリーナ2階	-
11/15～11/17	韓国姉妹都市30周年記念訪問団 受入	-
11月24日(土)	ベトナム理解講座&外国人会議	-
12月 9日(土) 10:00～	中国料理教室 宮崎西地区交流センター	11月広報予定
12月 2日(土) 13:00～	宮崎市国際交流協会のボランティアさんとの交流会 カフェテラス ケーズ	-
12月22日(金) 10:00～	こそだてCafé パレット	11月広報予定
12月23日(土) 13:00～	国際理解講演会「海外での医療支援活動について」宮崎市民プラザ大会議室	11月広報予定

## 事務局長のアメリカ見聞録

### ハロウィンとサンクスギビング

宮崎の街中でもハロウィンの飾りつけをよく見るようになりました。もともとハロウィンは、ヨーロッパで始まったお祭りで、毎年10月31日に行われます。本来は秋の収穫を祝い、悪霊を追い出すという宗教的な意味があったそうですが今では大衆的なイベントになったようです。私が住んでいたアメリカのシカゴでは、9月になるとスーパーマーケットの軒先にオレンジ色の大きなかぼちゃがゴロゴロと並べられ、ハロウィンが近いことを教えてくれます。家々の庭には悪霊を追い払うためにオレンジ色のかぼちゃをくりぬいた「ジャック・オー・ランタン」がいくつも置かれたり、ガイコツや悪霊のいるお墓をイメージした庭もつくられたりするなど、ハロウィン仕様の庭を見て回るのも楽しいものでした。当日は仮装した子どもたちがお菓子を隣近所の家々にもらいに来ます。私は日本のお菓子を用意して待ちました。アメリカの子どもたちにも日本のお菓子は大人気でした。

さて、ハロウィンが終わると、毎年11月の第4木曜日にはサンクスギビングデー(感謝祭の日)がやってきます。アメリカ人にとって一年のうちでもとても大切な祝日で、お店はお休みになるところがとても多いです。日本で言うところのゴールデンウィークというところでしょうか。サンクスギビングデー前からホリデーシーズンモードとなり、街中がサンクスギビングとクリスマス関連のグッズで溢れ、家族や友人との食事や旅行に出かける人も多く、アメリカで最も移動する人が多いのが、サンクスギビングデーだそうです。

